

マイス MICEって なに？

九州新幹線西九州ルート諫早・長崎間の工事起工から2年弱が経過しました。

まだはつきりと形には現れていませんが、JR長崎駅や駅周辺は少しずつ生まれ変わりつつあります。開業予定の2022年のまちの姿を想像すると、なんだかワクワクしてきますね！

しかし、新幹線が開業しても、魅力的なまちでないとお客さまはやってきません。これまでも、世界遺産登録に向けた取り組みや、夜景観光の推進、長崎ランタンフェスティバルの開催などでまちの魅力を磨いてきましたが、今後さらに、まちの魅力を高めることが重要になります。

そのような中、長崎市は国内外から多くの人を呼び込む可能性を秘めた**MICE(マイス)施設の整備の検討を進めています。**

しかし、「MICE」について知っているかたはほとんどいないのではないのでしょうか。今回は、このMICEとはそもそも何なのか？というところなどを紹介いたします。

観光政策課

☎8299・1152

特集

市政

長崎市民

「ご意見」
プレゼント

生活情報

健康

子育て

福祉

税

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

特集

市政

長崎市民

ぶこ意見
プレゼン

生活情報

健康

子育て

福祉

税

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集

MICEのココが

知りたい!!

MICEってそもそも何？

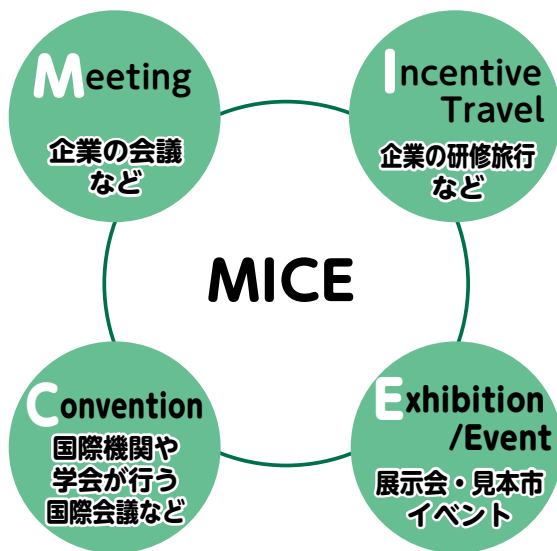
「M」は企業の会議など (Meeting)、「I」は企業が行う研修旅行など (Incentive Travel)、「C」は国際機関や学会が行う国際会議など (Convention)、「E」は展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字をとった造語で、多くの集客と交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

大きなものではサミット (主要国の首脳会議) や大規模なコンサート、国際モーターショーなどがあげられます。

また、国際会議や大規模学会、イベントなどが開催されると、国内外から多くのかたが集まるだけでなく、滞在期間も長くなり、訪れたかたがレセプションや観光も行います。そのため、**宿泊や観光、飲食などといった関連産業で大きな経済効果をもたらします。**

これまでも、長崎市ではコンベンションや学会などの誘致をしてきましたが、受け入れができる大きな施設がないことから、実現しないものがたくさんありました。

これらのことができるMICE施設は今以上の人を呼び込み、経済を活性化させる可能性を高めるものと考えています。



他都市のMICE施設で行われた展示会や全国大会の様子

なぜ施設を検討しているの？

人口減少や地方分権などの長崎を取り巻く状況を考えたとき、これまでのように国や経済の動向に左右されるだけでなく、独自の活性化戦略を持つ必要があります。そのときに、基本的な考え方は、「**まちの個性や資源を生かす**」という点です。

江戸時代から国内外との交流によって栄えてきた長崎は、文化や夜景、食などの魅力にあふれています。そして、おもてなし意識が高い市民性や大学の存在、平和や医学に関する情報なども豊富にあります。MICEは、これらの**個性や資源をたくさん生かせる**ので、とても長崎に向いていると考えられます。

また、長崎の経済を発展させるためには、長崎を訪れる国内外の人に、より多くの宿泊や買い物などをしてもらうことで、消費を拡大させていくことが重要です。

そのために、これまでの観光客に加えて、新たに長崎を訪れる人を増やす必要があることから、大規模な学会や会議などを開催できる施設をつくる必要があると考えています。

「今」検討を進めている理由は？

国内外から多くの人を迎えるには、交通の利便性も重要なポイントになります。新幹線の開業が決まり、交通アクセスが格段に向上するなど**長崎駅周辺が変わろうとしています**。

さらに、整備予定地と考えている新長崎駅の隣接地については、土地の所有者と購入に向けた話し合いが続いていて、最速地に建設できる可能性が出てきました。

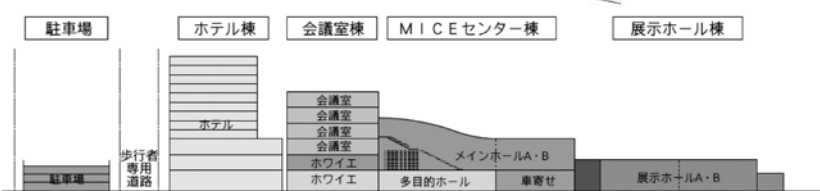
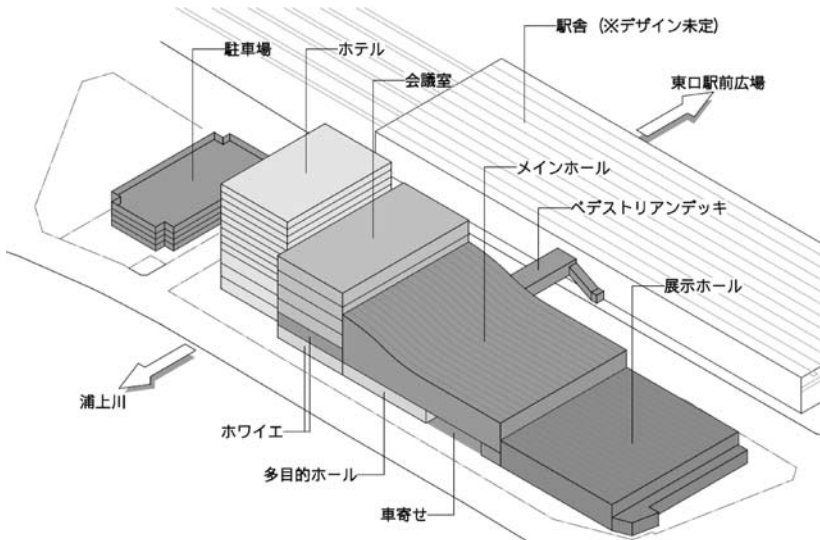
そのように、新幹線が来る駅に直結した場所に整備できる条件が整ってきた今だからこそ、検討ができるようになりました。

財政状況は大丈夫？

人口減少や少子高齢化などで厳しい財政状況が続くと見込まれていて、施設整備の財政への影響が課題となりますが、平成初期の大型事業の公債費償還(借金の返済)が終了しつつあるなど、**新たな大型事業に取り組むことができる環境が整ってきました**。

しかし、今後とも、事業の優先順位をつけたり、事務の効率化などを行いながら、持続可能な財政運営に取り組みます。

現在、検討している建物の規模や建設予定地(概要)



※上図はイメージ。実際の整備は要求水準を満たす事業者の提案による

《敷地》
 長崎駅西側用地（現民有地）約 20,000㎡
 隣接保留地 約 3,000㎡

《施設規模》
 ①メインホール 約 3,000㎡
 （最大 5,000 人収容可能）
 ②展示ホール 約 3,000㎡
 （多彩なイベントが開催可能）
 ③多目的ホール 約 2,100㎡
 ④会議室 約 4,500㎡
 ※駐車場や、民間事業者が建設・運営するホテル、企業誘致のオフィス等スペースも設置予定。

《事業手法》
 市が建設し、民間事業者が運営
 （指定管理者制度の導入）
 利用料金制による独立採算での運営

《事業費》
 144 億円
 （ホテル部分を除く。用地費などは別途）

《供用開始時期》
 平成 31 年度 供用開始予定

※この内容を基本的な考えとして、今後検討を進めます。

同じ施設内で展示会や学会、レセプション、宿泊までできるのが特徴。新しい長崎駅に直結し、使いやすい施設とすることで競争力を高めることを目指しています。

ながさき MICE フォーラム

「MICE が持っている多様な可能性と期待」や「MICE で拓く長崎の未来」をテーマに、MICE の有効性や産・学・官・市民の役割などについて考えます。参加無料。

- 【期日】** 5月18日(日)
- 【時間】** 午後1時30分～4時 ※午後1時開場
- 【場所】** NCC & スタジオ (茂里町)
- 【申込】** 5月12日(月)までにあじさいコール (☎ 822-8888 FAX 822-8850 メール 8888@ajisai-call.jp) へお申し込みください。はがきなどで観光政策課へ郵送 (〒 850-8685 桜町 4-1 商工会館 4 階) 持参可。※参加者全員の氏名と、代表者の氏名・電話番号が必要です。

関係者との連携を強化

検討を進めるには、施設整備だけでなく、誘致や受入体制をつくることも不可欠です。受入体制については、経済界からは経済界が中心となった基金の設立などの提案をいただき、長崎大学とは4月にコンベンションの誘致と開催に関し協力し合う覚書を締結しました(10ページ参照)。

今後も産学官が連携して、MICE施設整備と、誘致や受け入れの体制づくりに向けた検討を進めます。

情報発信に取り組みます

今後は、MICEについて市民の皆さんの理解が深まるよう、広報やさまざまな機会を通じて十分説明し、ご意見を伺いながら検討を進めていきます。